

せとのあさ



令和元年7月発行 第151号

公益社団法人 青少年育成広島県民会議

〒730-8511 広島市中区基町10-52 広島県環境県民局県民活動課内
TEL.082-513-2742 FAX.082-511-2173

<http://www.hiro-payd.or.jp>

令和元年度 「青少年育成県民運動推進大会」を開催します!

令和元年11月2日(土) 13:00~15:30

広島県民文化センター 多目的ホール

(広島市中区大手町一丁目5-3)

今年度の『青少年育成県民運動推進大会』は、令和元年11月2日(土)に広島県民文化センター 多目的ホールにおいて開催します。

大会では、青少年健全育成功労者や家庭の日に関する作品の県知事表彰をはじめ、青少年による活動発表を行います。

また、元広島東洋カープの投手で野球解説者の大野豊さんとフリーアナウンサー神田康秋さんによる「野球から学んだこと」と題したトークショーを実施します。

皆さまのご参加をお待ちしています。入場無料。



昨年度の様子

少年の主張意見発表

広島県知事賞受賞・国立青少年教育振興機構努力賞受賞
「手話は言葉」

広島市立基町高等学校1年 大森 葉和さん

※受賞時は、東広島市立八本松中学校3年

昨年開催した「少年の主張」・中学生話し方大会2018において広島県知事賞を受賞した広島市立基町高等学校1年 大森葉和さんが手話について体験し、実行したことを発表します。



昨年度発表の様子



昨年度表彰の様子

〈トークショー〉 『野球から学んだこと』



大野 豊さん 神田 康秋さん

〈プロフィール〉

●大野 豊さん

1955年島根県生まれ。出雲商業高校から出雲市信用組合(軟式野球)を経て、77年にテストを受け広島東洋カープに入団。「七色の変化球」を駆使し、88年に最優秀防御率のタイトルを獲得し、沢村賞を受賞。91年には最優秀救援投手となる。97年にセ・リーグ最年長完封勝利(当時)を達成し、42歳で再び最優秀防御率のタイトルを獲得。98年限りで現役引退。99年に広島東洋カープの投手コーチを務めたあと、2000年からNHKの野球解説者に。04年にはアテネオリンピック、08年には北京オリンピック日本代表チームの投手コーチを務める。10年から広島東洋カープの投手コーチを務めたあと、13年から再びNHKの野球解説者に。同年、野球殿堂入りを果たした。

●神田 康秋さん

1951年広島県安芸郡府中町生まれ。75年にテレビ新広島開局とともにアナウンサーとして入社。79年にはフジテレビ系列にて史上最年少(26歳)で巨人戦実況デビュー後、ワールドカップバレーボールで世界最優秀放送賞を受賞する。プロ野球ニュースメインキャスター、みのもんた氏に代わり「プロ野球珍プレー好プレー大賞」のナレーションを担当するなど名物アナウンサーとして活躍。そのほかの主な番組には「どっこい!神田の日のめくりテレビ」、「釣りごろつられごろ」、「FNNスーパーニュース」など。現在はフリーアナウンサーとして、広島のみならず全国において、メディアをはじめ多方面で活躍中。

《大会プログラム》

- | | |
|-------------------------|--|
| 13:00 開会 | 国歌斉唱 |
| ・開会挨拶 (公社)青少年育成広島県民会議会長 | |
| ・来賓祝辞 広島県知事 | 広島県議会議長 |
| ・表 彰 青少年健全育成功労者等知事表彰 | 家庭の日に関する作品の知事表彰 |
| 13:30 少年の主張意見発表 | 「少年の主張」・中学生話し方大会2018
広島県知事賞受賞・国立青少年教育振興機構努力賞受賞
「手話は言葉」
広島市立基町高等学校1年 大森 葉和さん |
| 13:40 青少年活動発表 | 「三井権ハと布野の『もののけ』～布野妖怪めぐり」(三次市立布野中学校)
「落語」(布野放課後子ども教室) |
| 14:20 トークショー『野球から学んだこと』 | 出演者 大野 豊さん、神田 康秋さん |
| 15:30 閉会 | ・あいさつ (公社)青少年育成広島県民会議副会長 |

青少年活動発表

三次市立布野中学校 三井権八と布野の『もののけ』～布野妖怪めぐり

平成30年度布野中学校第1学年の生徒5人が総合的な学習の時間に、布野町の魅力をPRする絵本を作成しました。

三次市に伝わる昔話「稻生物怪録」に登場する三井権八は布野町出身の相撲取りです。また、布野町の民話には、様々な『もののけ』が登場します。そこで私たちは、三井権八と布野の『もののけ』が登場する物語を創作しました。フィールドワークでは、化け猫の墓など今も跡が残っている場所もあり、布野町の歴史的な魅力に気付くことができました。

たくさんの人たちに、私たちの創った絵本を読んでもらえたら嬉しいです。

出演者：(2年生)川口 陽美・佐藤 花・福間 結蘭・増井 心翼・吉迫 希美



布野の魅力を考える



フィールドワーク



中国新聞取材

布野放課後子ども教室 落語

布野小学校の放課後や夏休みなどに、子どもの安全な居場所づくりと「学習」「体験」「交流」活動を目的に開設している子ども教室です。人前での発表が子どもの成長に良い経験になるとして、ステージ出演を活動の中心に据えています。

落語への取り組みも5年目を迎えて、「落語がしたい！」と希望する児童5人が毎週水曜日、古典落語や「もののけ落語」の練習に励んでいます。本日は4年生と5年生の2人が高座に上がらせていただきます。

来場の皆様の反応が良ければ子ども達も調子が出ます。是非、声援のお笑いをお願いいたします。

出演者名

- 平佐 穂乃花 (布野小 4年生) 芸名:浮沼亭ほのか
- 小田 愛実 (布野小 5年生) 芸名:浮沼亭まなみ



令和元年度 市町民会議ネットワーク研究会

地域における青少年育成活動は、市町民会議の構成員、青少年育成地域リーダー及び青少年育成県民運動実践員が相互に連携して推進することが大切である。

また、活動を将来的にわたり継続するためには、若い世代の参加が必要となる。

そのため、青少年健全育成関係者と後継となるものが一堂に会して、課題解決の手法を学び情報交換を行うことで活動に生かせる研究会とする。

日 時 令和元年10月25日(金)

13:00～16:00(受付は12:30～)

会 場 広島グリーンアリーナ(広島県立総合体育館)
地下1階 大会議室

(広島市中区基町4-1)

参加対象者 青少年育成市町民会議の構成員、青少年育成地域リーダー、青少年育成県民運動実践委員、各市町で青少年育成活動を担うリーダーとして期待される若い世代

講 師 広島大学大学院
総合科学研究院 准教授 四田 篤さん

内 容 「今日から始めるリスク・コミュニケーション」

災害や事故が起きた時に、とっさに命を守ることができるでしょうか。日々の訓練をより有効に、そして地域で共有できるために身近なリスクを再認識し、役割と手順を確認すること=リスク・コミュニケーションが注目されています。

ゲームを通して『リスク』を楽しく学ぶ事例を紹介します。



前回のネットワーク研究会の様子



青少年育成指導者派遣事業について

県内の市区町民会議において開催される学習活動や講演会等に青少年育成指導者を派遣し、講演等を行うことによって青少年の健全育成や社会環境浄化の啓発を図り、県民運動の推進に資するものです。

市区町民会議が主催、共催、後援する講演会等で、参加人員予定者が最低50人以上の事業が対象です。

〈青少年育成指導者リスト〉

名前(住所)	職業・主な役職、プロフィール	専門分野、講演テーマ
安藤 周治 (あんどう しゅうじ) (三次市)	柏屋安藤製菓舗代表／NPO法人ひろしまNPOセンター代表理事／NPO法人ひろしまね理事長／マツダ財団評議員／ひろしま国際交流サミット幹事／内閣府地域活性化伝道師／国土交通省水の里の旅のコンテスト審査委員長／コミュニティ政策学会理事／広島県河川整備基本方針等検討委員／総務省地域力創造アドバイザー	地域づくりやコミュニティ活動、集落・自治組織活動支援 「まちづくりから青少年を考える」 「私がかわり、まちがかわる」 「地域の宝、青少年と地域を創る」
石田 瞳子 (いしだ むつこ) (三次市)	親業訓練シニアインストラクター／三次市教育委員会社会教育委員／学校評議員／三次市個人情報保護制度審議会委員／三次ケーブルビジョン放送番組審議会委員／公立中学校生徒指導(平成15～25年度)	子育て・親育てコミュニケーション「子どもの自立と意欲を育てる接し方」「子どもに愛が伝わっていますか」「子どもの未来の扉を開く」「語りかけよう！親の本音」「親業」子どもの安心・安全を守るために一学ぶ力・生きる力を育む—
今田 弘武 (いまだ ひろむ) (広島市)	日本けん玉協会西中国地区総支部長、国際指導員／日本けん玉協会認定八段／剣道四段(日本剣道連盟)／尺八師範(都山流)／広島県青少年育成アドバイザー協議会理事／小学校非常勤講師(人間力を伸ばすけん玉)	「心づくり・ともだちづくり」「じぶんづくり・がまんづくり」「けん玉で広島から世界へ」モンゴル・東アフリカ(ウガンダ、ケニヤ、ルワンダ、コンゴ)・中国モンゴル自治地区、ロシア(ウラン・ウデ)、ベトナム(ハノイ・ホーチミン)「家庭の絆づくり」「笑顔の平和づくり」
岩永 誠 (いわなが まこと) (東広島市)	広島大学大学院総合科学研究科教授 日本感情心理学会常任理事	ストレス心理学、実験臨床心理学、音楽心理学(音楽療法) 「青少年の心とケア」「子どもの理解と保護者の関わり」 「現代青年の抱える『やさしさ』の病理」 子どもや青年の心の問題や発達に関する問題について
上村 崇 (うえむら たかし) (福山市)	福山平成大学福祉健康学部教授(哲学、倫理学、道徳教育) 学校教育を研究対象に、教育現場と関わりながら道徳教育、情報教育、安全教育、哲学教育について研究を進めている。	教育倫理学、情報倫理学、性の哲学道徳教育、哲学教育 「学校における危機管理と安全教育」 「情報社会における安全教育」 「モラルの育成を阻害する社会的諸要因」「哲学カフェ」
宇治木 敏子 (うじきとしこ) (広島市)	NPO法人日本タッチ・コミュニケーション協会 理事長／TA心理カウンセラー／インド政府認定 ヨガ教師 1992年よりいじめ、不登校、引きこもり等の社会課題をテーマに活動を始め、1995年から青少年のフリースペースの代表を務めた。不登校、自傷行為など、子どもたちの心の問題に向き合った体験から、乳幼児期の心のケアの重要性に気づき、1999年から乳幼児期の心のケアに活動分野をシフトした。現在は、乳幼児虐待予防活動、親への支援、そして子どもとのレジリエンス力を育む活動に取り組んでいる。	ストレスマネジメント、メンタルヘルスケア(企業から個人まで、対象者に合わせたプログラム)／発達心理学に基づいた子育て、親育ては理論と実践を組み合わせ、体験重視で受講者の「気づき」を引き出すセミナー ・心のふれあいペーブーマッサージ・レジリエンスな生き方、育て方 ・子育てのための心理学・交流分析 ・高齢者のタッチ・コミュニケーション・職員のメンタルヘルスケア
小田 長 (おだ たけし) (広島市)	広島市社会教育委員会議長 廿日市キャンプ協会会長 ボランティア論	青少年育成スーパーバイザー ・キャンプ場の管理運営・ボランティア活動について ・地域おこしのあり方
加藤 恒光 (かとう つなみつ) (東広島市)	写真家／国際ボランティアコーディネーター／日本ユネスコ協会、国際協力機構(JICA)、民間ボランティア団体などからの派遣で45ヵ国以上を撮影取材した。／総理府(現内閣府)青年の船リーダー／日中友好広島県青年の翼／ピースポート参加／ナマステ・クラブ・ジャパン代表	地方の国際化のなかで異文化をどのように理解するか 発展途上国の訪問取材を通して学んだこと ネパール、タイ・ラオス国境での日本人ボランティアの実情について
岸房 康行 (きしふさ やすゆき) (広島市)	NPO法人心豊かな家庭環境をつくる広島21理事長／(公社)青少年育成広島県民会議理事／(株)広島ドラゴンフライズ前代表取締役社長 広島県農業協同組合中央会専務理事	・地域の未来を拓く地産地消 ・人格形成は家庭教育から ・何故 食育が必要なのか
吉川 水貴 (きっかわ みき) (広島市)	㈱広島千茶荘専務取締役／広島佐伯警察署管内少年補導協助員連絡協議会会長／広島県「減らそう犯罪」推進会議委員／NPO法人青少年サポートクラブ理事長／暴走族少年並びにOBの青少年を対象としたサッカーサークル、パソコン教室を主宰／保護司	「暴走族から子ども達を守るために」 「非行グループと向き合うためのおやじクラブ」 「地域におけるおやじの役割」 非行や犯罪に関わった方の就労支援(薬物含む)
西平 孝治 (にしひら たかはる) (三次市)	酪農家／三次市子どもも会育成連絡協議会／つるアート「風花」工房主宰 三次かっぱくらぶ・カヌー	「総合学習と農業」「森遊び」 子どもも会活動全般 野外活動の実技と指導
藤野 完二 (ふじの かんじ) (岩国市)	環境省認定環境カウンセラー 元中国放送コメントーター 環境省IPCCリポートコミュニケーター	・今、地球で起きている現実と子ども達の未来 ・環境学習と生きぬく知恵(ESD教育) ・環境の世紀を生きるということ ・地球・温暖化問題の実状とこれから ・ふろしきの色・柄・使い方を通して和の文化の可能性を考えます。 ・川や森での環境問題をテーマとする体験学習指導
宮崎 文隆 (みやざき ふみたか) (三次市)	「逆手塾」事務局長／「県北クリエーション協会」顧問／コミュニケーション能力1級資格取得／レクリエーションコーディネーター／「抱きしめて笑顔ハイヅカ」実行委員長／キャンプディレクター1級指導者／里山創造研究会事務局長	「青少年が輝き まちが輝く」「夢づくり、人づくり、ふるさとづくり」「人間交流術入門」「コミュニケーション力を磨く」「夢それが輝爆剤」「話し方の輝爆剤」「課題を逆手に！人をやる気にさせる力」「里山資本主義の創造」「元気の出る小さな拠点づくり」
三好 久美子 (みよしく述べ) (福山市)	余暇開発士／公益財団法人ひろしまこども夢財団理事長／ひろしまNPOセンター副代表理事／ラーニングネットふくやま代表	余暇、生涯学習、社会教育／ボランティア、地域づくり／「こころのギアチェンジ」／「地域は子育て応援団」／「人が育ち、こころが育つ地域活動」／「人生、今が旬」／「会って、知って、つながって」
山本 晃二 (やまもと こうじ) (福山市)	(有)ハイセイリフォーム代表取締役(塗装業) (株)豊生取締役(足場工事業)	「罪を犯して失ったもの得たもの」 「罪を犯してもなお社会で生きていく為に」 「罪人が社会で生きるということ」
和田 晋 (わだ すすむ) (広島市)	広島市教育委員会教育センター主事／比治山大学非常勤講師／元公立中学校教員(国語科・生徒指導主事・学年主任等担当)／元広島市教育委員会青少年育成部／暴走族対策・自立支援担当主幹／元公立中学校校長(元校長会長)／課題を抱えた中学校に勤務し、長年広島市内を夜回りした経験から、多くの青少年の立ち直る姿に学んできた。その経験を基に、学校教育・家庭教育や地域連携に活かしたいと考えている。	一休感のあるチーム学校づくり／学校・家庭・地域の連携と再生／いじめ・不登校の対応方法／子どもの生活指導や自立支援等／「可能性を引き出す教育とは」／「学校の再生を支援するPTA」／「みんなが輝く子育ての在り方」／「元気が出る学校と地域の関係づくり」／「大人が変われば子どもは変わる」等

令和元年度「家庭の日」作文・図画募集

健全で明るい家庭は、家族みんなで話し合い、家族みんなで楽しみ合い、家族みんなで力を出し合うことによって築かれます。

青少年育成広島県民会議では、毎月第3日曜日を「家庭の日」として定め、明るい家庭づくりの運動を展開しています。

この運動が広く地域に浸透し、多くの家庭で実践されることを願って、小・中学生が、家族や家庭について日頃思っていることや感じていること、家族で一緒に体験したことなどを作文や図画に表現した作品を募集します。

対象者 広島県内の小・中学生

- 応募方法**
- [作文] ・400字詰め原稿用紙3枚程度とします。
 - ・縦書きとし、はっきりと書いてください。
 - ・題の次に、学校名・学年・名前(ふりがな)を記入してください。
 - [図画] ・作品は4つ切りの画用紙とします。
 - ・画材は自由です。(クレパス、水彩絵の具等)
 - ・裏面の「図画応募用紙」に記載し、作品の裏に貼付してください。
 - ・作品のコメントも忘れずに記載してください。



昨年度「家庭の日」に関する図画特選作品
「おおいたのんせんにかぞくとはいった」
広島市立宇品小学校2年 根津 七海

応募締切 令和元年9月4日(水)必着

- 審査・発表**
- (1)応募作品は、審査委員会を設けて厳正に審査し、入賞作品を決定します。
 - (2)特選者には、青少年育成県民運動推進大会(11月2日開催)において、広島県知事から賞状及び賞品を授与し、併せて副賞として1万円分の図書カードを贈ります。
 - (3)入選者には、賞状及び賞品を贈ります。
 - (4)応募者全員に、参加賞を送ります。参加校は必ず応募者の控えをお持ちください。
 - (5)入賞作品は、当県民会議発行の入賞作品集や機関誌など、広報用として活用させていただきます。

「少年の主張」・中学生話し方大会2019

国際化、情報化が急速に進み、環境が目まぐるしく変化する現代社会において、次代を担う子供たちには、論理的に物事を考える力、自分の主張を正しく伝える力、広い視野と柔軟な発想や創造性などを身につけることが求められている。この大会は、中学生が話すことによって伝える力を育み、学び合う機会となるとともに、意見発表を通して、中学生への理解と認識を深めてもらうことをねらいとしています。

入場無料です。ぜひご来場ください。

開催日時 令和元年9月7日(土) 10:00~16:00

開催場所 広島県社会福祉会館 2階 講堂

(広島市南区比治山本町12-2)

対象者 広島県内の中学生

主催 公益社団法人 青少年育成広島県民会議、広島県中学校話し方連盟
独立行政法人 国立青少年教育振興機構

表彰 広島県知事賞、(公社)青少年育成広島県民会議会長賞、広島県中学校話し方連盟会長賞、国際ソロプロチミスト広島会長賞、広島清流ライオンズクラブ会長賞(各1名)、優秀賞(6名程度)及び優良賞を選考し賞状を贈る。

副賞 この大会で、広島県知事賞、(公社)青少年育成広島県民会議会長賞、広島県中学校話し方連盟会長賞、国際ソロプロチミスト広島会長賞、広島清流ライオンズクラブ会長賞を受賞した5名には、副賞(約1週間の海外研修)が(公財)広島青少年文化センターから授与される。

〈期間〉令和2年夏休み期間(予定) 〈訪問先〉大韓民国(予定)



昨年度大会で発表された皆さん

青少年育成力レッジのご案内

受講料 無料

公益社団法人青少年育成広島県民会議では、公立大学法人県立広島大学と連携して、「青少年育成力レッジ」を開講しております。

青少年の心と健康、行動などを理解し、すこやかに育むための知識や手法を学びませんか。「わかりやすい」と受講者からは好評です。



昨年度の様子

■令和元年度総合講座の概要

今年度のテーマは「子どもの力を引き出す環境づくり」とし、傷つきやすく生きづらさを抱えるひととのかかわり方や子どもの行動に対する理解と支援について学び、また、心を育てる手法であるプレイバックシアターアクティビティを行います。

日 程

[第1回]
令和元年11月16日(土)
10:00~15:30

[第2回]
令和元年11月30日(土)
10:00~15:30

受講資格

広く青少年に関わる活動や仕事をしている方、
青少年育成活動に関心のある方

定 員

各回60名(定員になり次第締め切ります)

履修保証
制 度

所定の20単位(1講座1単位)を修得された方に、学習したことを評価して「認証状」を発行します。
ただし、令和元年度は、午前の部受講で2単位、午後の部受講で2単位とします。

青少年育成県民運動

●7月

「青少年の非行・被害

防止全国強調月間」

●11月

「子供・若者育成

支援強調月間」

●「あいさつ・声かけ運動」



「青少年の非行・被害防止全国強調月間」
キャンペーンポスター

各種会員の募集について

当県民会議では、青少年の健やかな成長を願って様々な活動を行っています。その活動資金を確保するため、各種会員制度を設けて、皆様からの温かいご支援を承っております。

入会申込みについては、事務局にお問い合わせください。
会費は次のとおりです。

■正会員

(年額) 個人 3,000円
団体 5,000円

■賛助会員

(年額一口) 個人 1,000円
団体 10,000円

銀行振込先

広島銀行県庁支店
口座番号／(普通)233251
口座名義／(公社)青少年育成広島県民会議

ホームページ紹介

(公社)青少年育成広島県民会議の活動を紹介しています。

詳しい情報はこちらから▶ <http://www.hiro-payd.or.jp>

